

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【895】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 改良住宅管理運営事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	建築住宅課
	項	05	住宅費		
	目	02	小集落改良住宅管理費	連絡先	0594-24-1220
	細目	001	改良住宅管理運営費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	改良住宅	公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○改良住宅の管理運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居募集を行う。</li> <li>・家賃を賦課、徴収する。</li> <li>・団地内の巡回を行う。</li> <li>・住宅の適正な維持管理を行う。</li> </ul>	<p>公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。</p> <p>● ある ○ ない</p>
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	改良住宅の入居者が健康で安心して暮らせる良好な住環境を維持、管理していく。	理由 民間ストック(借り上げ住宅、家賃補助など)の活用検討

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	管理戸数	戸	183	183	183	183	
	入戸戸数	戸	176	178	176	176	
活動指標	入居希望者(年間)	件	0	6	7	0	
	改良住宅使用料調定額(現年度)	千円	15,949	16,006	16,073	16,073	
成果指標	入居率	%	目標値 実績値 96.2	96.2 97.3	97.3 96.2	96.2	
	改良住宅使用料収納率(現年度)	%	目標値 実績値 91.5	91.5 91.7	91.7 92.7	92.7	
投入コスト	事業費計			1,797	2,019	1,925	1,820
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		1,797	2,019	1,925	1,031
	一般財源					789	
	所要人員(正職員)	人工	1.07	0.95	1.20		
所要人員(嘱託再任用)	人工	0.07	0.41	0.10			
人件費合計	千円	7,698	8,163	8,544			

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充      ○ 休止廃止
- 現状維持   ● 見直し
- 縮小

施設の老朽化が進み、居住者からは維持管理に関する要望が増加している。また、入居者の高齢化が進むなど、多くの課題を抱えている。今後は、他市事例等も参考にしながら、様々な取組みを検討する必要がある。

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2067】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目04 (仮称) 堂ヶ峰公園整備事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	都市整備課
	項	04	都市計画費		
	目	03	公園費	連絡先	0594-24-1252
	細目	005	公園整備事業費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
(仮称) 堂ヶ峰公園	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
国の施策において地球温暖化対策の一環で都市の緑化推進、緑地の整備及び保全を推進しており市街地における緑を生かした公園整備を行う。  平成27年度 用地取得	都市公園は公共施設として行政が整備を行っていく。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市街地における貴重な緑地を確保するため、公園整備を行う。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	総事業費	千円			999,100	999,100	
活動指標	実施事業費	千円			570,074	923,158	
成果指標	整備計画内の進捗率	%	目標値		57.1	92.4	
		実績値			57.1		
投入コスト	事業費計			0	0	570,074	353,084
	財源内訳	国支出金	千円			0	0
		県支出金				0	0
		地方債				540,800	335,400
		その他				0	0
	一般財源				29,274	17,684	
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.05		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円				342		

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

地形及び樹木などの緑を活かし、また安全性や防犯に配慮した整備を行う。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【890】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 市営住宅管理運営事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	建築住宅課
	項	05	住宅費		
	目	01	住宅管理費	連絡先	0594-24-1220
	細目	002	市営住宅管理運営費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
公営住宅 (特目住宅及び一般向け改良住宅含む)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○公営住宅の管理運営を行う。 ・入居募集を年3回行う。 ・家賃を賦課、徴収する。 ・団地内の巡回を行う。 ・住宅の適正な維持管理を行う。	民間ストック (借り上げ住宅、家賃補助など) の活用検討
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
公営住宅の入居者が健康で安心して暮らせる良好な住環境を維持、管理していく。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	管理戸数	戸	964	964	964	964	
	入戸戸数	戸	839	828	794	794	
活動指標	入居希望者 (年間)	件	57	52	26	26	
	公営住宅使用料調定額 (現年度)	千円	155,778	152,585	149,837	149,837	
成果指標	入居率	%	目標値 実績値 87.0	87.0 85.9	85.9 82.4	82.4	
	公営住宅使用料収納率 (現年度)	%	目標値 実績値 96.4	96.4 95.9	95.9 96.7	96.7	
投入コスト	事業費計			13,411	13,911	18,628	15,691
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		13,411	13,911	18,628	13,894
	一般財源				1,797		
	所要人員 (正職員)	人工	1.39	0.95	1.40		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.05	0.42	0.30			
人件費合計	千円	9,862	8,198	10,592			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

施設の老朽化が進み、居住者からは維持管理に関する要望が増加している。また、入居者の高齢化が進むなど、多くの課題を抱えている。今後は、他市事例等も参考にしながら、様々な取組みを検討する必要がある。

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1798】

会計名称	一般会計			
事務事業名	細々目01 総合運動公園整備事業			
予算区分	款	08 土木費	所属	都市整備課
	項	04 都市計画費		
	目	03 公園費	連絡先	0594-24-1252
	細目	005 公園整備事業費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
総合運動公園	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○桑名市及び広域的な周辺地域の住民利用を目的とした幅広い年齢層のスポーツ・レクリエーション施設として整備する。 ・全体計画面積 28ha ・平成27年度事業 防球フェンス	都市公園の整備は国の補助事業であり公共施設として市が整備を行っていく。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
子どもから高齢者まで、またアスリートから一般の方までの幅広い市民のライフスタイルに応じた生涯スポーツ実践の場として多様な利用ができる。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	計画面積	ha	28	28	28	28	
	整備面積	ha	13.7	14.4	14.4	14.9	
成果指標	整備計画内の進捗率	%	目標値 49.6 実績値 48.9	49.6 51.4	51.4 51.4	53.2	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			91,363	101,800	126,656	104,503
	財源内訳	国支出金	千円	39,000	39,000	39,000	45,166
		県支出金					0
		地方債		35,100	54,100	59,600	45,300
		その他					0
	一般財源	17,263	8,700	28,056	14,037		
	所要人員 (正職員)	人工	0.56	0.91	0.90		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	3,905	6,442	6,153			

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

誰もが利用できる施設として第二工区全体の早期供用開始が望ましい。